

なぜ描いたの？

たれが描いたの？

弥生

大阪府立弥生文化博物館 平成18年春季特別展

弥生人が描いた世界

画

やよいすけつち

帖

講演会

場所 / 1階ホール 時間 / 午後2時～4時(受付/午後1時～)

開催日 / 4月23日(日) 対談「弥生人が描いた世界」

○水野 正好(財団法人大阪府文化財センター 理事長)

○金岡 聡(大阪府立弥生文化博物館 館長)

考古学セミナー

場所 / 1階ホール 時間 / 午後2時～4時(受付/午後1時～)

全回参加者には修了証と記念品を贈呈いたします。

1 「2つの人物画にみる弥生のシャーマン像」

5月7日(日) 講師: 藤田 三郎(唐古・鍵考古学ミュージアム)

2 「弥生絵画研究のあゆみと展望—弥生絵画は誰が、なぜ描いたのか—」

5月21日(日) 講師: 橋本 裕行(奈良県立橿原考古学研究所)

3 「弥生人が見た鹿と羊について」

6月4日(日) 講師: 深澤 芳樹(独立行政法人文化財研究所 奈良文化財研究所)

4 「なぜ、鹿が描かれたのか」

6月18日(日) 講師: 野本 寛一(近畿大学文芸学部)

本館学芸員による展示解説

毎週日曜日と祝休日(午前11時から特別展示室にて)



4/22(土) - 7/2(日)

主催 = 大阪府立弥生文化博物館 毎日開館 毎日放送
後援 = 大塚21世紀協会
協賛 = 株式会社 国際交流サービス

大阪府立弥生文化博物館

開館時間 / 午前9時30分～午後5時(入館は4時30分まで)

休館日 / 毎週月曜日

入館料 / 一般600円(480円)、65歳以上・高大生400円(320円)

小中学生・障害者手帳を持つ方は無料

(())内は団体料金・ただし20名様以上)

所在地 / 〒594-0083 大阪府和泉市池上町443

電話 / 0725-46-2162 FAX / 0725-46-2165

http://www.kanku-city.or.jp/yayoi/

交通 / JR阪和線「信太山」駅

下車 西へ600m、

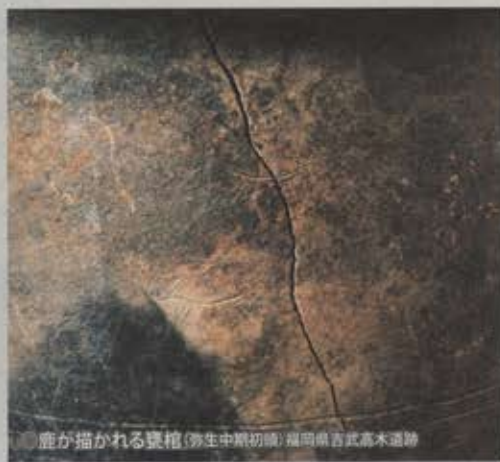
南海本線「松ノ浜」駅

下車 南東へ1500m

駐車場 / 普通車80台

大型バス7台(いずれも無料)





◎鹿が描かれる甕棺(弥生中期初頭)福岡県吉武高木遺跡



◎人面のある銅戈(弥生中期～後期)福岡県白旗出土



◎盾と戈をもつ人物(弥生中期後葉)奈良県清水風遺跡



◎人物が描かれる板(弥生後期初頭)福岡県上郷子遺跡



◎鹿と羊?が描かれる琴(弥生中期後葉)
鳥取県青谷上寺地遺跡



◎鹿と建物(弥生中期後葉)奈良県唐古・磯遺跡

弥生

大阪府立弥生文化博物館
平成18年春季特別展

弥生人が描いた世界

画帖

やよいすけっち

弥生時代には、土器に鹿、建物、人物、鳥、竜、フネ、魚など、銅鐻に鹿、鳥、人物、魚、猪、トンボ、カメ(スッポン)、カマキリ、トカゲ(イモリ)、クモなど、多くの絵画が描かれており、こうした絵画には、農耕を主な生業とした弥生人の世界観をかいま見ることが出来ます。
絵が描かれた土器は、九州から関東までひろくみられますが、なかでも奈良県や大阪府、とくに大和盆地南部、河内・和泉、といった地域に集中しています。これらの地域は弥生時代、土器に絵を描く文化の中心であったといえます。
本展では、弥生時代、絵画の中心地であった奈良県や大阪府の絵画土器とともに、絵画のある銅鐻や木製品、土製品など、弥生画に関連する資料を一堂に集めてご紹介いたします。
弥生人があつかった多彩な題材、独特の画法、共通する構図、具象から抽象へと変遷などへ目を向け、弥生人の世界観に迫ります。弥生画からひろがる弥生人の世界へでかけましょう。

展示構成

総数255点、うち唐古・磯遺跡、清水風遺跡出土
絵画土器90点

I はじまりとひろがり

弥生前期末～中期前半の絵画資料をご紹介します。

II 画材と画法

鹿、建物、人物、鳥、フネ、魚、カメ(スッポン)、戈を描いた土器や木製品などを画材ごとに展示します。

III 共通する構図—物語の存在—

画材の組み合わせや連続する画材をもつ資料を比較します。

IV 具象から抽象へ

弥生後期に現れる竜に注目し、その変遷を追うとともに弥生後期の記号文を展示します。

主な展示品

- ◎釣が描かれる甕棺(弥生中期初頭)福岡県飯氏遺跡
- ◎鹿・人物・猪・小型の四足獣・鳥?が描かれる板材(弥生中期前半)佐賀県土生遺跡
- ◎矢が刺さった鹿(弥生中期後葉)愛媛県文京遺跡
- ◎鳥装の人物と建物(弥生中期後葉)岡山県新住尾上遺跡
- ◎魚が描かれる琴(弥生中期後葉)鳥取県青谷上寺地遺跡
- ◎連続して描かれる鹿・人物・建物(弥生中期後葉)兵庫県養父山・前池遺跡(展示は5月下旬まで)
- ◎三層の高床建物(弥生中期末)大阪府男里遺跡
- ◎鹿・鳥・釣が描かれる琴(弥生後期初頭)福岡県上郷子遺跡
- ◎鹿・魚が描かれる箱形木製品[兵庫県指定文化財](弥生後期～古墳前期初頭)兵庫県神狹遺跡
- ◎船団が描かれる板材[兵庫県指定文化財](古墳前期初頭)兵庫県神狹遺跡



大阪府立弥生文化博物館

開館時間/午前9時30分～午後5時(入館は4時30分まで) 休館日/毎週月曜日
入館料/一般600円(480円)、65歳以上・高大生400円(320円)、小中学生・障害者手帳を持つ方は無料(1)内は団体料金・ただし20名様以上)
所在地/〒594-0083 大阪府和泉市池上町443 電話/0725-46-2162 FAX/0725-46-2165 http://www.kanku-city.or.jp/yayoi/
交通/河阪和線「僅太山」駅下車 西へ600m、南海本線「松ノ浜」駅下車 南東へ1500m 駐車場/普通車80台、大型/バス7台(いずれも無料)